

1 大倉山記念館 大倉山 2-10-1

昭和7(1932)年大倉邦彦が大倉精神文化研究所として建設。横浜市有形文化財に指定されており、ギリシャ神殿風の外観や神社建築の木組みを用いたホールなど、見どころが多くあります。

2 大倉山公園梅林 大倉山 2-10

昭和6(1931)年、東京急行電鉄が梅林として公開。その後横浜市が取得。施設を整備し、平成元(1989)年に大倉山公園の一部として開園。32種、約200本の紅・白梅があり、春には観梅会が開催されます。

3 歓成院 大倉山 2-8-7

高野山真言宗の寺院で、妙智山法華寺歓成院。室町時代の永祿3(1560)年善通法印により開創されました。本尊は十一面観世音菩薩像で、鎌倉期の運慶作と伝わっています。旧小机領三十三観音霊場巡りの十二番札所、子年開帳です。クスノキ、銀杏、椿は横浜市の名木古木となっています。

4 太尾神社 大倉山 2-16-1

大倉山には江戸期に鎮守様が6社あり、当地には杉山神社がありました。昭和33(1958)年に村社の神明社に他5社を合祀し、杉山神社の地へ移転、社名を太尾神社と改称。その後は氏子地域の発展に伴い社殿を修築、社務所等の施設が完備されました。祭神は天照皇大神。菅原道真公を始め、7柱の神様が祀られています。

5 太尾堤緑道 大倉山 7-40-1

鳥山川を埋め立てた後に、南北1.2キロの緑道に整備しました。この付近が徳川将軍家の鷹の調教等を行う「促飼場」でした。平成元(1989)年に開催された、第一回横浜彫刻展(ヨコハマビエンナーレ'89)で、緑道をイメージして制作された受賞作品8点を設置しています。ソメイヨシノ、八重桜、ジンダイアケボノなどの桜並木があり、春にはお花見も楽しめます。

6 太尾公園・太尾南公園 大倉山 7-40-1

港北水再生センターの下水処理場の屋上に造られた人工の公園です。太尾公園は平成元(1989)年に、地域住民のスポーツの活動拠点として整備され、定期的にプレイパークも開催されています。鶴見川側、太尾堤緑道側、どちらから入ることができます。

太尾南公園は平成11(1999)年に造られ、再生水のせせらぎと池があり、魚がいてカモもやってきました。晴れた日には富士山を見る事も出来ます。太尾堤緑道側から入りますが、エレベーターが設置されています。

7 横浜アリーナ 新横浜 3-10

平成元(1989)年に横浜市政100周年記念施設として開業。収容は17,000人で、日本で初めてアリーナの名前が付けられた多目的イベントホールとして、コンサートやスポーツイベントなどが開催されています。日本建築業協会賞を平成2(1990)年に受賞し、「音響家が選ぶ優良ホール100選」にも選ばれました。平成28(2016)年にリニューアルオープンしました。



8 新横浜駅前公園 新横浜 1-16-1

鶴見川支流の鳥山川に沿った長さ1.5kmの細長い公園です。ワールドカップ大橋付近では、横浜桜街もある桜並木が続いています。春になるとお花見で賑わっています。駅前公園という名前は、昭和50(1975)年に開園された当時、新横浜駅から見渡せたので「駅前」と名付けられました。